

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルペリ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～ 2026年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	視覚的にわかりやすい掲示物がある。	イラストや表を用いて理解しやすい環境を作っている。	情報過多にならないように選別する。
2	専門療育を受けることができる。	その日の専門療育のスケジュールをホワイトボードに示し、利用者に伝わりやすいようにしている。	集団活動の中に専門療育を取り入れる。
3	おもちゃを週ごとに変更している。	施設内でのおもちゃが固定せず、様々なおもちゃに触れて過ごせるように工夫している。	おもちゃの買い替えを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援の仕方や支援方法が固定化されている。	言葉で伝えることができる利用者であったとしてもおもちゃカードを用いることで、カードで意思を示すだけになってる可能性がある。	週ごとに変えるおもちゃ以外のおもちゃカードを破棄し、言葉で伝えるようにする。
2	児童発達支援と放課後等デイサービスの利用スペースが同じである。	気持ちが高ぶっている利用者のリラックスできる場所が専門療育で使用しているため落ち着けるスペースがない。	専門療育の時間を工夫し、子どもが多くいる時間帯に個室が空くようにする。
3	イベントの難易度に偏りがある。	児童発達支援と同じ難易度のイベント内容になっている。	イベント内でも難易度を分けて子どもに合ったイベントに変更する。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	ルベリ					公表日	2026年 3月 1日			
					利用児童数	19		回収数	10	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	0	1	・普段の活動をみていないので分かりません。	活動スペースを区切るなど活動を行えるように工夫いたします。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	2	・普段の活動をみていないので分かりません。	適切な療育ができるよう努めてまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	0	0	1	・普段の活動をみていないので分かりません。	子どもたちにわかりやすいよう視覚的な教材を壁面に掲示しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	1	・普段の活動をみていないので分かりません。 ・静かに集中できるスペースが増えるといいなと子供は思っています。	集中できるスペースと遊ぶスペースを区切るなどして心地よく過ごしていただける環境作りに努めてまいります。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	0	0	0				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	0	0	0	・日常の子どもの姿を見て必要な支援をして頂いています。	支援計画に沿った支援が実施されるよう職員間で日々内容を共有しています。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	0	0	0				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	1	6	・外出支援で他の子との交流できてます。	今後も定期的に外出支援を実施し、地域の子どもと交流できる機会を提供させていただく予定です。		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10	0	0	0				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	1	5	・子供への対応が分からないこともあるので機会があれば参加したい。 ・家族参加の場が増えたらいいと思います。	定期的に家族参加型のプログラムを実施し、情報提供の機会を設けさせていただく予定です。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10	0	0	0				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	1	0	・色々教えて頂きありがたいです。 ・プログラム作成のため面談はあるが助言などは無い。	何かご相談がございましたらモニタリング以外にもお話しさせていただく機会を作りますのでお気軽にご相談ください。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	0	1	6	・家族参加イベント兄弟も楽しんでいます。 ・もっとこういった機会を増やして欲しいなあと思っています。	定期的に家族参加型のプログラムを実施し、ご利用者様同士の交流の機会を作るよう努めさせていただきます。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1	0	0	・今日のイベント楽しみと通ってます。	今後も魅力的な活動を提案してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	1	0	0	・日々成長させて頂いています。	いつもご利用いただきありがとうございます。今後も楽しく通える施設を提供できるよう努めてまいります。

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	ルベリ		公表日		2026年 3月 1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	・机の配置や数をその場に応じて増やしたり減らしたりしている。 ・運動と制作の場所を視覚的に分かるようにしている。 ・広々としているので適切なスペースだと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	・誰が送迎を担当するのか、また見守る職員が何人必要か考慮し送迎表を作成している。	職員の遊びの幅を増やし集団で行なうことが出来る活動を提案していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・子どもたちが見て分かるように視覚的に支援できるおもちゃカードやイラストがある。 ・加湿器の水を毎日変えて清潔な環境を作っている。	イヤマフの貸し出しを求めることがあるが数が不足しているため購入する必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	言語療育やSSTの時に使うことがある。また、気持ちの切り替えが難しい子などがある時に使っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	・定期的に話し合いの場があり、PDCAサイクルを回している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	・保護者の意向を把握し、業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・朝礼や週礼で意見交換を行い業務改善に努めている。 ・面談などの機会で個人の意見を伝えることができる。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・定期的に全職員に対しての社内研修を行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	モニタリング前に保護者に配布しているアンケート用紙でニーズなどを確認しモニタリング等を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・支援内容を朝礼時に確認している。 ・週礼などで話し合いが設けられている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	・アセスメントシートの確認を職員全体で行なっている。 ・計画が完成した後、目を通して把握する機会がある。 ・朝礼でその日に来所する利用者の支援計画を読む時間が設けられている。 ・毎朝朝礼時に確認して計画に沿った支援ができるようにしている。 ・支援内容を朝礼時に確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	・子供合わせた項目が適切に設定され、そのうえで具体的な支援内容が設定されている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	・支援計画を作成する際に職員間で子どもの特性について意見を出し合い立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	・週によって使えるおもちゃが変わる。 ・平日に日替わりの活動プログラムを実施し集団活動を促している。 ・毎月話し合いで集団遊びや土日祝のイベントを提案し取り組んでいる。	・専門的支援実施計画の内容について他児にもあてはまる内容だった場合に似た支援方法になっていることがあるため、各利用者に合わせた支援計画を作成できるよう努める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	・朝礼時に誰がイベントのリーダーシップを取るのかを話し合い実践している。 ・朝礼に確認と共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・翌日の朝礼時に情報共有や振り返りを行っている。 ・気になることがあれば職員間で共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2	・情報共有を行い小さなことに気付くことができている。 ・朝礼で前日にあった出来事を共有しメモに記録、いつでも振り返りができるようにしている。	・トラブルがあった場面は記録や共有をしているが徹底しているとは言えないため確実に情報共有を行う
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	・定期的に保護者とモニタリングをして新たな支援を行っている。 ・定期的にモニタリングを実施し、都度支援計画の見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	1	・「自立支援と日常生活充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を組み合わせ発達段階や特性に合わせた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・自己決定が難しい場合に選択肢を出すなどの工夫をして支援している。 ・活動時に自分の好きな素材等を選べるようにしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・職員間で会議の前に情報共有を行い、子どもの状況について理解した上で参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	4		・他機関との連携は不十分だと感じるため送迎時に共有できるよう努める。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2	・お迎え時に体調の変化を確認するよう徹底している。 ・必要に応じて連絡調整を行っている。	・学校での様子を具体的に知る機会は少ないため、必要に応じて学校での様子を見学に行く。 ・送迎時にどの期間が篤みなのかなど学校休業日とされている日の情報共有を行えるよう心がける。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	5	・これまでに移行した前例がないため今後必要になった場合には情報提供を行う予定。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		・地域の子どもと活動する機会がないため、今後は積極的に連携を図ることに努める。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	7		・協議会への参加は積極的にできていないので機会があれば参加していく。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎時に子どもの状況の情報共有を行い、保護者からの聞き取りをしている。		

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	・家族参加の研修の機会は少ないが親子参加型イベントを定期的実施し相談の機会を作っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	・契約時など必要に応じて細かく説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	・事前に保護者や子どもの意思を聞き取り、保護者や子どもの意思を尊重した支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	・支援内容の説明を行った上で同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・モニタリングや日々の送迎時の共有で相談の機会を設け、相談を受けた際は職員間で共有し支援に繋げている。 ・必要に応じて保護者の相談に応じ、面談の機会を作っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	6	・家族参加型のプログラムを定期的開催し、保護者同士で交流する機会を作っている。	休日に親子イベントを実施する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・相談や申し入れがあった場合には迅速かつ適切に対応するように努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・土日イベントのブログやインスタグラムへの投稿、SNSを通して活動内容を掲載している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	2		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・課題についての共有をする際は配慮した表現にしている。 ・タイマーで時間を視覚化している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		・地域住民との交流が少ないため今後地域と交流できるプログラムを設定していく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	・各マニュアルを策定し、訓練を定期的実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	・BCPを策定し、定期的訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	・事前に確認し症状が出た際の対応ができるように週礼で情報共有をしている。 ・モニタリング時などに子どもの状況を確認し、対応方法について都度職員間で共有している。	・予防接種は把握しきれていない部分があるため保護者に確認する必要がある。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	・食物アレルギーについて事前に確認・リスト化し症状が出た際の対応について職員間で情報共有している。 ・食物アレルギーがある子どもが利用している日のおやつに対象のアレルゲンが含まれるもの出さない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・安全計画に基づいて安全管理を定期的に見直し支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	・安全確保について家族と連携を取り回り、周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・毎月ヒヤリハットを職員間で共有し、再発防止に向けた方策を検討、実施している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・定期的に研修を実施し、適切な対応について振り返る機会を作っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	5	・身体拘束が必要な児童が現在はいないが、今後契約になった場合には支援計画書に記載する予定。		